

スーパーグローバル高校

県内4校を指定

国際教育推進

県と県教育委員会は13日、国際的に活躍できるリーダーの育成に取り組む「スーパーグローバルハイスクール」(SGH)に県内の四つの高校を指定する、と発表した。

指定したのは、文部科学省からもSGHの指定を受けた大垣北高(大垣市)のほか、関高(関市)、岐阜聖徳学園高(岐阜市)、高山西高(高山市)の4校。指定期間は、大垣北高が5年間、他の3校は3年間。

大垣北高は、東南アジア・東アジア諸国の社会やビジネスの課題を題材に研究を進め、大学や地元企業と連携を図り、カンボジアやベトナムでの海外インターシップなどを行う。関高は大学や地元企業と、課題研究を実施。地場産業の刃物を世界に広める海外広報に随行するなど、海外での実習を行う予定。岐阜聖徳学園高は、災害時の対応をテーマに、フィリピンの高校生との共同研究を行い、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。高山西高は国際観光を切り口に、フィールドワークや論文作成、英語ディベートなどを実践。地域に根差した国際人を育成する。

(森川みどり)